

地域文化・芸術資源可視化（VOLCANO）研究

研究代表者	社会学部 教授 林 直保子
研究概要	本研究は、3つの要素から構成される。1) 浪速-大阪の文化・芸術資源を最新のIT技術を援用しながら高精細デジタル化、CG化する。2) 通常公開されることの少ない地域の文化・芸術資源に対して、デジタルミュージアム形式などで一般の鑑賞機会を創生する。3) 鑑賞機会の創生を契機として、地域文化の再評価と地域への愛着の醸成を試みる。この3要素からなる本プロジェクトは、社会学、美術史学、情報処理学、社会心理学にまたがる学際的研究として展開されるものである。また、ユニットの設置を通じて、企業、自治体、商店街組織、NPO、公益法人、および各種ボランティア団体と大学との連携を推進し、文化と芸術が街に息づく地域として浪速-大阪の再定義化をすすめ、地域活性化の新たな基盤形成を図る。
学内研究員	文学部 教授 中谷 伸生 総合情報学部 教授 林 武文 社会学部 教授 与謝野 有紀
設置期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日
設置場所	第3学舎C棟6階C707（林直保子・研究室）